

高浜老朽原発の再稼働は大丈夫？

電気が足りないの？

電気代が安くなるの？

政府が原発を推進するのは何故？

福島第一原発事故から12年、廃炉の目途も立たず未だ緊急事態宣言発令中です。避難解除をすすめることで、原発事故が収束したかのように思われています。しかし、溶け落ちた燃料棒（デブリ）の取り出しは、全く進んでおらずロボットを投入しての内部の映像から格納容器底部に堆積物を確認している程度です。人が入れば即死する程の放射線量があり、どのように取り出すか研究段階といえます。

岸田政権は、GX推進法を決めて原発推進に舵を切りました。国民の命よりも大切な原発推進とは何なのでしょう。守田さんを囲んで、みんなで考えましょう。



講師：守田敏也さん

とき：2023年8月26日(土)17時～

ところ：倉敷労働会館207号室

倉敷市稲荷町5-38(086-425-0873)

参加費：無料(当日カンパ袋をまわします)



<守田敏也さんプロフィール>

1959年生まれ。同志社大学社会的共通資本研究センター(宇澤弘文教授主宰)の客員フェローなどを経て、現在はフリーライター。京都「被爆二世・三世の会」世話人、兵庫県丹波篠山市原子力災害対策検討委員を兼ねる。福島原発事故以降、被曝地を度々訪問。著書に物理学者矢ヶ崎克馬氏との共著『内部被曝』、原子力災害対策をまとめた『原発からの命の守り方』(海象社)がある。

問い合わせ先 憲法を暮らしに生かす倉敷市民の会事務局(川上)

当日の飛び入り参加も大歓迎ですが、準備の関係で事前の申し込みをいただければ幸いです。

E-mailでお申し込みの場合は、①名前②住所③電話番号をお知らせ下さい。

電話 090-3744-8693(川上) E-mail kawakami301@paw.hi-ho.ne.jp